

## 第1 平成16年度当初予算の概要

予算はどのような考えで編成したのですか。 予算編成の基本方針

平成16年度の地方財政計画においては、国の財政再建が優先され、地方歳出の削減が突出された結果、地方公共団体の基幹的な歳入のひとつである地方交付税（地方交付税の不足を補うための臨時財政対策債を含む実質ベース）が全国総額で 12.0%という未曾有の大幅削減となりました。

本県の平成16年度当初予算は、こうしたかつてない厳しい状況の中での編成となりましたが、職員数の削減など現在進めている行財政改革の取り組みを一層加速させるとともに、歳入・歳出全般にわたる総点検を行い、見直しを実施するなど様々な努力と工夫（P23参照）を重ねた上で、

選択と集中そして地域独自のルールによる社会資本の着実な整備、地域の様々な資源や既存のインフラを活用したソフト施策への転換と行政サービスの質的向上を図ること

予算措置等による従来型の行政手法に加え、県独自の条例である「ふるさと石川の環境を守り育てる条例」、「安全安心な消費生活社会づくり条例」の制定や、「食の安全・安心の確保に関する基本方針」の策定など、規制・誘導などの新たな手法を組み合わせた多様な施策の展開を図ること

産業戦略、観光振興、国際化、少子化に関するプランなど各分野における基本指針について、時代の変化とこれまでの取り組み結果の評価を踏まえ、抜本的に見直し、新たな時代に対応した施策の再構築を図ること

などにより、県民ニーズにより適切に対応していくことを基本に編成しました。

こうした基本方針のもと、具体的施策としては、特に、上向きつつある景気を本格的な回復軌道に乗せるための「中小企業対策」と雇用のセーフティネットの拡充や、「環境施策」、「県民生活の安全・安心の確保対策」、「子ども施策」、「活力ある地域づくりと交流の拡大」などに重点を置いたところです。

## 石川県当初予算（歳入）

（単位：百万円、％）

	H 16	H 15	増減	増減率
地方交付税	137,500	146,000	8,500	5.8
臨時財政対策債	29,000	41,000	12,000	29.3
小計（実質交付税）	166,500	187,000	20,500	11.0
地方税	109,000	107,017	1,983	1.9
地方消費税清算金	23,850	22,858	992	4.3
国庫支出金	88,722	100,261	11,539	11.5
県債（臨時財政対策債を除く）	59,801	62,321	2,520	4.0
その他	99,070	93,097	5,973	6.4
計	546,943	572,554	25,611	4.5

（参考）県債計	+	88,801	103,321	14,520	14.1
---------	---	--------	---------	--------	------

## ひとくちメモ

### 地方財政計画

国が作成する翌年度の全国の地方公共団体全体の歳入歳出総額の見込額に関する計画のことをいいます。

地方財政計画には、

地方交付税を通じて地方財源を保障

地方財政と国家財政・国民経済等との調整

個々の地方公共団体の行財政の運営指針

という役割があります。

### （参考）地方財政計画（歳入）

（単位：億円、％）

	H 16	H 15	増減	増減率
地方交付税	168,861	180,693	11,832	6.5
臨時財政対策債	41,905	58,696	16,791	28.6
小計（実質交付税）	210,766	239,389	28,623	12.0
地方税	323,231	321,725	1,506	0.5
国庫支出金	121,238	122,600	1,362	1.1
地方債（臨時財政対策債を除く）	99,543	92,022	7,521	8.2
その他	91,891	86,371	5,520	6.4
計	846,669	862,107	15,438	1.8

（参考）地方債計	+	141,448	150,718	9,270	6.2
----------	---	---------	---------	-------	-----

（注）地方財政計画は都道府県分と市町村分を合わせた全地方公共団体ベースの数値